

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。アジア太平洋機械翻訳協会におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、このたび令和八年春の褒章におきまして、多言語自動翻訳システムの開発に関する功績により、紫綬褒章を拝受いたしました。

本受章は、アジア太平洋機械翻訳協会様において、受章候補者としてご推薦いただいた結果として実現したものであり、貴協会としてのご意思とご高配の重みを、厳粛に受け止めております。とりわけ、ご多忙の中、推薦書類の取りまとめ等にご尽力くださいましたことに対し、ここに改めて、深甚なる感謝の意を表します。

機械翻訳の研究・開発およびその社会実装は、専門家コミュニティに支えられて初めて成し得るものであり、今回の受章は、アジア太平洋機械翻訳協会が長年にわたり本分野の社会的価値と国際的意義を組織として発信し続けてこられたご活動が評価された結果であると認識しております。

今後も、貴協会の一員として、機械翻訳分野の発展と、研究成果の社会還元に貢献できますよう、より一層研鑽を重ねてまいる所存です。引き続き、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りましたら幸いに存じます。

末筆ながら、アジア太平洋機械翻訳協会様のますますのご発展と、理事ならびに会員各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

敬具

令和八年四月二十九日

NICT フェロー

隅田 英一郎